

# 教師用授業チェックリスト【学習準備編】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

1 授業の前に学習準備をしている		<学習準備>
1	1日のスケジュールを掲示して、朝の会で確認している	
2	1時間の授業や活動の流れを板書や掲示物で示している。	
3	授業の終了の前に後始末をさせ、次時の準備をさせている。	
4	休憩時間に済ませておくべき事（トイレ、水のみ、鉛筆削りなど）を教えている。	
5	毎時間後、黒板がきれいに消されている。	
6	忘れ物があったときの援助の求め方を教え、対処方法を準備している。 (貸しノート、鉛筆、消しゴム等)	
7	授業の開始前に必要な用具が準備されているか、確認している。	
8	月や週の予定を掲示し、スケジュールを知らせている。	
9	特別な学習用具の準備は余裕（1週間以上前）を持って知らせている。	
10	教室の整理整頓に心がけ、不要なものを置かないようにしている	
11	児童の机の中やロッカーの使い方を決めて、統一している。	
12	授業で使うファイルや資料の置き場所を決め、整理整頓している。	
13	配布物は、その場ですぐに整理（ファイリング、ノートに貼る、連絡袋に入れる）させている。	
14	下校前に机の周りの整理整頓をさせている。	

2 授業開始時間に席について待っている		<学習準備>
1	授業の開始時刻と終了時刻を守っている。	
2	授業開始時間に席に座り、教科書等を見て待つことを教えている。	
3	授業の開始と終了のあいさつをしている。	

<取り組んでみたいことを記入しましょう>

# 教師用授業チェックリスト【聞く編】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

---

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

3～5 話の聞き方		<聞 >
1	話し手を見て、口を閉じ、最後まで話を聞くように指導している。	
2	注目をさせて(私語と作業を止めて)から、指示を出している。	
3	一つの指示で一つの課題を出している。	
4	簡潔に説明を終了している(長い説明にならない)。	
5	1時間の授業や活動の流れを板書や掲示物で示している。	
6	1時間の授業のねらいを伝えている。	
7	子どもたちを引きつけ、考えさせる教材や教具を用意している	
8	聞き手を引きつける声の調子や抑揚、表情、身体表現を取り入れている。	
9	望ましい姿勢を教え、維持するように指導している。	
10	許可した以外は離席しないように教え、維持するように指導している。	
11	具体的で分かりやすい言葉を使っている。	
12	視覚的の手がかり(板書、教科書など)を添えて、説明している。	
13	前面黒板の周りが整頓されている。	
14	指示を出した後、子どもが理解したかどうか全体の様子を確認している。	
15	子どもの集中時間を考え、授業を複数の活動(読む、調べる、考える、作業、発表、まとめ等)に分けて進めている。	
16	教室にいるスタッフのそれぞれの役割と責任の分担ができています。	
17	授業の内容と日常生活を結びつけるように意識し、指導に取り入れている。	

<取り組んでみたいことを記入しましょう>

# 教師用授業チェックリスト【話す編】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

---

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

6～8 話し方		<話 す>
1	意見や質問は、挙手をし、許可を得てから話すように指導している。	
2	聞いて欲しい人を見て発表するように指導している。	
3	丁寧な言葉遣い（敬称、です・ます調等）で話すように指導している。	
4	場（教室、グループ、隣同士）に応じた声の大きさを話そう指導している。	
5	話し手を見て、口を閉じ、最後まで話を聞くように指導している。	
6	話し方や意志表現の型やパターンを示し、使えるように指導している。	
7	考えをまとめる時間を確保している。	
8	学習活動に応じた学習形態（一人調べ、隣同士、グループ学習、教室の席の向き）を取り入れている。	
9	援助の求め方を教え（隣の児童に聞く、静かに挙手をしてTに援助を求める、パスを認める等）、使うことができるようにしている。	
10	活動意欲を削ぐような発言（非難・中傷・からかい等）や不適切な発言（話題から逸れた等）には、望ましい発言の仕方を教えている。	
11	丁寧で穏やか、肯定的な話し方をしている。	
12	子どもの望ましい発言や行動を積極的に評価し、言葉や拍手等による賞賛を送るように指導している。	
13	教室にいるスタッフのそれぞれの役割と責任の分担ができている。	

<取り組んでみたいことを記入しましょう>

# 教師用授業チェックリスト【書く編】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

---

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

9 ノートやプリントを決められた時間の中で書いている		<書 く>
1	作業をする時間を確保している。	
2	口を閉じて作業をするように指導している。	
3	最後尾の児童に見える文字の大きさを板書や教材提示をしている。	
4	授業の流れや考え方が分かるように板書や教材を提示している。	
5	色やマーク、ライン、囲み等を工夫して大事な所を示している。	
6	板書や提示教材とノート、プリントが連動する（ノートと同じマス目黒板、視写の量、提示教材と同じワークシート等）ようにしている。	
7	プリント教材等を活用し、「書く」負担を減らしている。	
8	前面黒板の周りが整頓されている。	
9	毎時間後、黒板がきれいに消されている。	
10	援助の求め方を教え（隣の児童に聞く、静かに挙手をしてTに援助を求める、パスを認める等）、使うことができるようにしている。	
11	複数の課題や小分けにした課題を用意し、個人差に対応している。	
12	個に応じた支援教材（九九表、50音表等）や支援器具（電卓、ボイスレコーダー、デジカメ等）を使わせている。	
13	教室にいるスタッフのそれぞれの役割と責任の分担ができている。	
14	1時間の授業や活動の流れを板書や掲示物で示している。	

<取り組んでみたいことを記入しましょう>

# 教師用授業チェックリスト【表現編】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

10 自分の考えや意見をまとめたり、発表したりしている		＜表 現＞
1	1時間の授業や活動の流れを板書や掲示物で示している。	
2	作品見本や手本、例文を示し、自分の考えやイメージを持たせるようにしている。	
3	作業をする時間を確保している。	
4	学習活動に応じた学習形態（一人調べ、隣同士、グループ学習、教室の席の向き）を取り入れている。	
5	全体への課題を出した後に、個別に支援が必要な児童に小声で支援を行うようにしている。（全体の前で声かけをしない）	
6	援助の求め方を教え（隣の児童に聞く、静かに挙手をしてTに援助を求める、パスを認める等）、使うことができるようにしている。	
7	友達同士で教え合う場を設定している。	
8	話し方や意志表現の型やパターンを示し、使えるように指導している。	
9	多様な方法で、発言（挙手、並び順に回答、子ども同士による話し合い等）や発表を（ネームプレートを貼る、グループの代表等）させている。	
10	意見や質問は、挙手をし、許可を得てから話すように指導している。	
11	聞いて欲しい人を見て発表するよう指導している。	
12	場（教室、グループ、隣同士）に応じた声の大きさを話すよう指導している。	
13	話し手を見て、口を閉じ、最後まで話を聞くように指導している。	
14	子どもの望ましい発言や行動を積極的に取り上げ、言葉や拍手等による賞賛を送るよう学級全体に指導している。	
15	活動意欲を削ぐような発言（非難・中傷・からかい等）や不適切な発言（話題から逸れた等）には、望ましい発言の仕方を教えている。	
16	丁寧な言葉遣い（返事、です・ます調の会話等）で話すように指導している。	
17	丁寧で穏やか、肯定的な話し方をしている。	
18	具体的で分かりやすい言葉を使っている。	
19	教室にいるスタッフのそれぞれの役割と責任の分担ができている。	
20	1時間の授業のねらいを伝えている。	
21	授業の内容と日常生活を結びつけるように意識し、指導に取り入れている。	

＜取り組んでみたいことを記入しましょう＞

# 教師用授業チェックリスト【活動編】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

1 1 やるべきことに取り組んでいる		<活 動>
1	1時間の授業のねらいを伝えている。	
2	子どもたちを引きつけ、考えさせる教材や教具を用意している	
3	子どもが好きなことや得意なことを授業の中に取り入れている。	
4	イラストやカード、補助黒板、視聴覚機器等を使用している。	
5	1時間の授業や活動の流れを板書や掲示物で示している。	
6	子どもの集中時間を考え、授業を複数の活動（読む、調べる、考える、作業、発表、まとめ等）に分けて進めている。	
7	多様な方法で、発言（挙手、並び順に回答、子ども同士による話し合い等）や発表を（ネームプレートを貼る、グループの代表等）させている。	
8	学習活動に応じた学習形態（一人調べ、隣同士、グループ学習、教室の席の向き）を取り入れている。	
9	課題の達成率を確認して、授業を進めている。	
10	複数の課題や小分けにした課題を用意し、個人差に対応している。	
11	個に応じた支援教材や支援器具（電卓、ボイスレコーダー、デジカメ等）の使わせている。	
12	教室にいるスタッフのそれぞれの役割と責任の分担ができている。	
13	集中力を高める位置や人間関係に配慮して、座席やグループを決めている。	
14	全体への課題を出した後に、支援が必要な児童に小声で支援を行っている。	
15	口を閉じて作業をするように指導している。	
16	子どもの望ましい発言や行動を積極的に取り上げ、言葉による賞賛や拍手等を送るよう学級全体に指導している。	
17	授業の内容と日常生活を結びつけるように意識し、指導に取り入れている。	
18	教室の整理整頓に心がけ、不要なものを置かないようにしている	
19	児童の机の中やロッカーの使い方を決めて、統一している。	
20	授業で使うファイルや資料の置き場所を決め、整理整頓している。	
21	プリント教材等を活用し、「書く」負担を減らすようにしている。	

<取り組んでみたいことを記入しましょう>

# 教師用授業チェックリスト【雰囲気編①】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

1 2 がんばっている友達を言葉や態度で応援している		<雰囲気>
1	子どもの望ましい行動を積極的に取り上げ、進んで言葉による賞賛や拍手等を送るように指導している。	
2	一人一人の良さを紹介し合い、認め合う機会を作っている。	
3	結果より、努力したことを具体的に取り上げ、評価している	
4	活動意欲を削ぐような発言（非難・中傷・からかい等）や不適切な発言（話題から逸れた等）には、望ましい発言の仕方を教えている。	
5	子どもの特性や長所を生かした係活動の設定をしている。	
6	当番活動の手順や順番を分かりやすく示している。	
7	当番や係活動を自主的に進められるようにして、できていることを賞賛している。	
8	担任や子どもの個性や長所を生かした学級全体で取り組む活動を日常的に行っている	
9	トラブルがあったときの解決方法を示し、子ども同士でも解決ができるように指導している。	
10	ルールを守っている児童を多様な方法で取り上げ、賞賛している。	
11	特例（学級ルールの基準を満たさなくても良い事例、人物、場面）を教え、学級のメンバーが納得している。	
12	丁寧な言葉遣い（返事、です・ます調の会話等）で話すように指導している。	
13	場（教室、グループ、隣同士）に応じた声の大きさを指導している。	
14	話し手を見て、口を閉じ、最後まで話を聞くように指導している。	
15	丁寧で穏やか、肯定的な話し方をしている。	

<取り組んでみたいことを記入しましょう>

## 教師用授業チェックリスト【雰囲気編②】

～どの子にもわかりやすい授業づくりをめざして～

(氏名)

---

該当する項目を選択して、「実践している→◎」「意識している→○」「意識していなかった→△」の記号を記入します。

	13 みんなで決めたルールを守るようにしている	＜雰囲気＞
1	ルールを守っている児童を多様な方法で取り上げ、賞賛している。	
2	特例（学級ルールの基準を満たさなくても良い事例、人物、場面）を教え、学級のメンバーが納得している。	
3	援助の求め方を教え（隣の児童に聞く、静かに挙手をしてTに援助を求める、パスを認める等）、使うことができるようにしている。	
4	必要な時期に、該当のルールが必要な理由を説明し、練習させている。	
5	ルールが緩んでいるときには、必要に応じてルールの確認と修正をしている。	
6	ルールを目に見える形(掲示やカード)で示し、説明している	
7	不注意等による複数人のルール違反の場合は、即座にやり直しをさせている。	
8	やり直しの後でルールを守ることができたら、賞賛している。	
9	個人的な特徴や問題でルール違反があったときには、近くのモデルとなる児童を賞賛し、注目させるようにしている（緊急時以外大声や皮肉、怒鳴るなどの方法を用いない）。	
10	モデル児童に注目できない時は、穏やかに求める行動を教え、注意を促している。	
11	個別の声掛けによる援助で改善が見られない場合には、全員に課題を出し、個別に対応する時間を作って、対処するようにしている。	
12	個別の援助に時間を要する場合は、他職員の応援を求めるようにしている。	
13	特例（他児が承認している）以外は、全員にルールを守らせている。	
14	同じルール違反やトラブルを繰り返す児童には、別時間に対処方法について話し合いを行い、対応策を立てている。* 1 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ルールを守れない理由やトラブル事実関係を確認する</li> <li>②ルールを守るための方法やトラブルを解決する方法を一緒に考える</li> <li>③解決策がまとまったらリハーサルをして、できたことを誉める</li> <li>④守ることが困難な場合は、代替行動を考え、リハーサ・賞賛を行う</li> <li>⑤ルールが守ることができないとき、似たような状況への対処方法も一緒に考え、約束や対策の提示、対処方法の予告をしておく。</li> </ul> </div>	
15	ルール違反が頻繁な児童については、校内委員会に連絡し支援を求めている	
16	教室にいるスタッフとそれぞれの役割と責任の分担ができている。	

＜取り組んでみたいこと＞

